

ゾントック フォーレス館

Sonntag Fores Kan
(長野県上田市)



外観

今回紹介するのは菅平高原にあるプチホテル・ゾントックのフォーレス館である。ゾントックとはドイツ語で日曜日の意味。ゾントックは本館、プール館などの複数の棟に分かれていてかなりの規模であり、とてもプチホテルという規模ではないが、このフォーレス館は、これらから約1km離れた位置にある。ゲレンデで言うとパインピークの脇だ。

聞いた話だが、このフォーレス館は元々ゾントックではない別のホテルであった。経営が行き詰まり、ゾントックが買い取ったのだという。ゾントックはこのホテルを常時営業しておらず、客が入れば開けるといって感じで営業をしているとのことだ。

外観は見ての通りの立派な木造建築。柱は直径50cmほどの大木を使用しており、ロビーには大きな暖炉が鎮座。まるでスイスのスキーリゾートに来たような気分だ。

スキーヤーに必須の乾燥室、チューンアップルームも完備。チューンアップ台は4台の鋼製の造り付けである。

前置きが長くなったが、フォーレス館の風呂を紹介しよう。風呂は地下1階にある。男女別になっており、脱衣室には棚があるが、ロッカーや籠はない。貴重品は部屋に置いてくるかフロントに預けよう。洗面台は2基。ホテルの規模の割には脱衣室は少々狭い。

浴室はシンプル。手前に洗い場が7か所ほどあり、奥に浴槽があるだけだ。石、木の材料が巧みに使われ、リゾートに来た気分を味あわせてくれる仕上げだ。洗い場にはリンスインプールとボディソープが完備。取材時はカランから出る湯の温度が低くて閉口したが、普段はこのようなことはないはずである。浴槽は定員10人くらい。湯温はかなり

熱めだ。

残念ながら、この風呂は温泉でもないし、サウナもない。しかし、スキーの疲れを癒すには十分である。

取材班はフォーレス館を取材する以外に、とあるスキー大会に参加するために来ていた。快晴の中、約 130 人の選手がレースを楽しんだ。今シーズンは雪がとても少ないが、この大会が開催できたことは幸いであった。フォーレス館は、そのような 130 人余りの選手たちが集い、スキーを楽しみ、食事と飲み会を楽しみ、ぐっすりと就寝し、風呂を楽しみ、スキーをチューンアップすることができる最高の場所だ。

- **名称**：プチホテル ゾンタック フォーレス館
- **所在地**：長野県上田市菅平高原 1223
- **電話**：0268-74-1111
- **営業時間**：24 時間
- **定休日**：宿泊客がいれば営業
- **入浴料**：宿泊客は無料
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2016 年 2 月 27 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部